

ち上げられ、九月から国内のテレビ中継サービスに入った。

アニクD1は、二十四のチャンネル(カナダでは最大)を備えた新世代の通信衛星で、二十四個のトランスポンダ(送受信機)が一個につき電話九百回線またはテレビ一回線の容量をもっている。

同衛星を打ち上げたカナダの国内衛星通信機構テレサット・カナダによると、アニクD1は、一九七二年から七五年にかけて打ち上げられたアニクAに代わる五個の新世代衛星のトップを切るもので、残る四個のアニクC、Dシリーズは、最後の一個を除いて今年末から一九八五年までに、次々と米国のスペースシャトルで打ち上げられる予定。

新アニク・シリーズは、通信容量だけでなく、増幅力も大きいため、家庭でテレビを受信するときも、現在のおわん型アンテナに代わって、安価な棒型アンテナで十分用が足りる。

これら五個の新世代衛星が上げれば、カナダは米国に次いで世界第二の衛星保有国となる。

エアバスA320計画への参加 カナダがコンソーシアムと交渉

カナダ政府とカナダの主力航空機メーカーのひとつ、デハビラン・エアクラフトは、フランス、西ドイツなど欧州諸国が共同で進めているエアバスA320計画への参加をめくって、欧州四か国で構

成するコンソーシアム、エアバス・インタストリーと交渉を開始した。

エアバスA320は、最新型エンジン二基を搭載した百五十席の中短距離旅客機で、同種の旧型機に代わるものとして考案された。エアバス・インタストリーは、すでにA300およびA310を製作

すでに就航しているエアバスA310



・販売しており、最近の調査によると世界のエアバス級旅客機市場の四三パーセントを制しているという。交渉は七月二十三日に始まり、十二月には終わる見込み。

テリー・フォックス・マラソン 二回目もカナダと世界各地で

「第二回テリー・フォックス・マラソン大会」が、九月十九日、カナダ全国および世界各地で開かれ、およそ四十万人が参加した。

テリー・フォックス・マラソン大会は、がんで右足を失いながらがん撲滅のための研究費を募金しようとしてカナダ横断マラソンを執行、昨年六月、肺がんのために二十二歳の若さで死んだテリー・フォックスの行為を記念して開催される

もので、参加者やその「後援者」から寄せられる献金はがん研究のために使われる。

主催者によると、記念マラソン(距離十キロ)は全国一千か所以上のほか、国外でも米国、ソ連、エジプト、ヨーロッパ各地などおよそ三十五か所で行われたという。日本でも、昨年と同じように、カナダ大使館やその家族、その他の在日カナダ人などが、大使館から出発して皇居を一周した。

高齢化進むカナダの人口

昨年六月に実施されたカナダ国勢調査の結果が、一部発表された。それによると、カナダの総人口は二四、三四三、一八〇人(女一、二七四、八九〇人、男一、〇六八、二九〇人)で、中間国勢調査が行われた一九七六年と比べて五・九パーセント増えた。十五歳以下の人口が七パーセント減ったのに対し、六十五歳以上は十七・九パーセント増え、全体的に強い高齢化傾向を示した。

その他の結果は次の通り。
●英語を母国語とするカナダ人は、一四、九一八、四四五人で、一九七六年より五・六パーセント増えた。フランス語が母国語だと答えたのは六、二四九、〇九五人で、前回より六・一パーセントの増。そのほか、スペイン語が母国語だと答えた人は五九パーセント、アルメニア語が六五・八パーセント、中国語が六九パーセント、インド

・バキスタン語が一〇〇・三パーセント、セム語が五八・八パーセント増えた。

●離婚してまだ再婚しないカナダ人は五〇〇、一三五人で、一九七六年の三〇二、五三五人より大幅に増えた。

●結婚している人の比率も、一九七六年の四七・七パーセントから四九・一パーセントに増えた。

●家族構成員は一九七六年の平均三・五人から三・三人に減った。
●所帯数は八、二八一、五三〇で、所帯当りの人数は一九七六年の平均三・一人から二・九人に減った。

メープル・リーフ金貨を発売 純度九九・九九%の二種類

カナダ・ロイヤル・ミント(カナダ造幣局)は、このほど日本で、純度九九・九九パーセントのメープル・リーフ金貨(写真)を発売した。四分の一オンス、十分の一オンスの二種類で、金地金と同じ資産価値をもつだけでなく、アクセサリーとしても美しい。表と裏に、それぞれエリザベス女王の肖像とカナダの象徴・カエデの葉(メープル・リーフ)が彫られている。発売元は田中貴金属工業株式会社(東京都中央区日本橋茅場町二一六六、電話六六八・〇一一一)。



グレン・グールドが死去

今世紀最大のピアノリストの一人といわれ、本紙(四十一号)でも紹介したグレン・グールド(写真)が、十月四日、トロント総合病院で心不全のため死去した。五十歳だった。

カナダ大使館では、十一月十一日、東京・渋谷のA to Zシアターで、「グレン・グールド追悼・音楽と映画の夕べ」を開催した。

カナダ人がエベレスト初登頂

カナダのエベレスト登山隊は、九月以来、クインプ氷河から頂上を目指して前進を続けていたが、隊員の一人ローリー・スクレスレットが十月五日、シエルバ二人と共に登頂に成功した。カナダ人がエベレストに登頂したのは、これが初めてである。

ストレスの権威セリ工博士死す

ストレスに関する世界的権威で、国際ストレス研究所の創設者、ハンス・セリ工博士が、十月十六日、心不全のためモントリオールの自宅で死去した。七五歳。セリ工博士が一九四四年に発表した「ストレス学説」は、内分泌学の領域に新分野を開いた。



(写真)が、十月四日、トロント総合病院